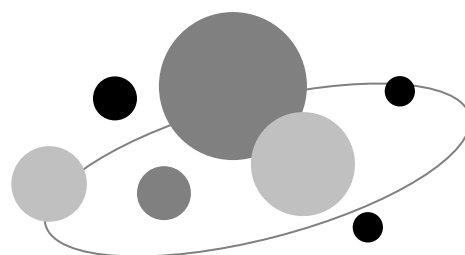


## 第4章

# 放課後子ども教室における今後の 学習支援活動の推進に向けた課題





放課後子ども教室における今後の学習支援活動の推進に向けた課題 - まとめにかえて -

第2章のアンケート調査及び第3章の事例調査の結果から、今後各地域において放課後子どもプランの一環として学習支援活動に取り組む上で参考となるポイントをまとめると、以下のとおりである。

**(1) 放課後子ども教室における「学習活動」の捉え方**

アンケート調査の結果、放課後子ども教室における「学習支援活動」として、指導する教科を決めていたり、あるいは学習アドバイザーの能力等に応じて指導教科を設定したりしている市区町村は約4分の1であり、半数以上の市区町村では「学習支援を行う教科は決めていない」としている。

各地の具体的な学習支援活動の内容をみても、多くの市区町村では、放課後子ども教室における「学習活動」を、授業や学習塾のように机に向かって国語・算数等の教科を勉強することのみに限定せず、工作や手芸、昔遊びなどの様々な体験活動や運動・スポーツ活動なども広い意味で「学習活動」の一環と捉えて、プログラムを実施していることが分かった。

その一方で、民間学習塾と連携して教科指導を行ったり、補助プリント等の活用により基礎学力の定着を図ったりしている例もあり、「学習活動」の捉え方は地域により様々である。

ただ、いずれの場合においても、放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりとして「放課後子ども教室」全体の活動方針を明確にした上で、その中で行う「学習活動」を学校や学習塾での学習とどう区別・整理するかということについては、予め関係者間の共通認識を図るとともに、保護者にも事業趣旨を十分理解してもらうことが必要である。

**(2) 幅広い「学習活動」を支える学習アドバイザーの確保策**

放課後子ども教室における「学習活動」を、いわゆる国語や算数などの机に向かう学習活動のほか、広く体験活動等も含めて捉えた場合、多彩な活動プログラムを「学習活動」として実施するためには、様々な特技や知識、技術を持った人を学習アドバイザー等として確保する必要がある。

アンケート調査や各地の事例をみると、人材の確保にあたっては、コーディネーターや既に活動に参加している指導員等からの紹介(いわゆる『口コミ』)を頼っているケースが多いが、中には教育委員会で整備している生涯学習リーダーバンクや社会福祉協議会等のボランティアバンクなどの人材バンク等を活用したり、あるいはPTAや自治会、子育て団体や近隣の大学・高校等への呼びかけなどを通じて人材の確保を図っている例もみられる。

また、事例調査でも、生涯学習市民講師などの人材バンクを活用したり、退職校長会から推薦・紹介を受けたりしている例がみられたほか、職員出前講座の活用により行政職員も指導者として放課後子ども教室での活動に参加したり、あるいは民間の学習塾から講師の派遣を得て学習支援活動を展開している例など、実に様々な方法で人材の確保が図られている。

このように、教科学習に限らず多彩な活動を放課後子ども教室で展開する上では、様々なチャンネルや既存の制度・事業等を活用して、幅広く人材を確保・活用することが有効かつ必要である。

### (3) 様々な学年の子どもに的確に対応する上で必要とされる資質・能力の向上

放課後子ども教室は様々な学年の子どもと一緒に過ごす場であり、指導員等として活動に関わる上では、様々な状況の子どもに適切に対応できる能力や経験が必要とされる。実際にアンケート調査結果からも、学習アドバイザーに求める能力として、教科ごとの専門知識や指導技術、あるいは学校の学習カリキュラムに関する知識や教材の作成能力など、教科指導を適切に行うことのできる能力もさることながら、それ以上に、子どもとのコミュニケーション能力や子どもの状況変化への的確な対応能力など、持てる知識や特技以外に子どもと接する上での能力が重視されていることが明らかとなった。

このため、前述のように、様々なチャンネルを活用して子どもと関わってきた活動経験のある人材を確保するとともに、学習アドバイザーに対しても、子どもとのコミュニケーションや子どもの安全管理と防犯等の安全対策、けがや事故の応急処置や初動対応など、放課後子ども教室で活動する上で必要な研修を充実させていくことが重要である。

また、こうした様々な子どもへの対応策については、現場での活動経験を重ねることによりノウハウが蓄積されていくものでもあり、それぞれの活動での悩みやその解決策について意見交換できる場や機会を設けることも有効である。事例調査でも、学習アドバイザーが一堂に会する会議や活動報告会などを開催している例が多くみられており、こうした機会を設けて様々な情報や課題解決策等を共有することが、学習アドバイザーのレベルアップを図る上で重要である。

### (4) 子どもの自発的な学習活動への適切な見守りによる効果

前述のように、各地ではいわゆる国語や算数などの教科学習のみに限らない幅広い活動が放課後子ども教室における学習支援活動として展開されているが、その一方で、様々な体験プログラムと併せ、机に向かい宿題やプリント等を行う時間を活動時間に組み込んでいる例も比較的多くみられる。ただし、このような場合も、学習アドバイザーが講師として授業形式で指導を行う例はあまり多くはなく、子どもの自発性に任せた予習・復習や宿題、あるいは保護者が持たせた市販の教材などの自学自習を指導員等が見守り、必要に応じてアドバイスを行うというケースが一般的であった。

このような自学自習の見守りを中心とした学習支援活動では、学習する内容そのものは子どもや保護者の判断に任せているケースが多いため、特定の教科の学力向上に繋がるような直結的な成果は得にくい。

しかし、実際に学習支援活動に取り組んでいる市区町村の約3割で、子どもの学習意欲の向上が実感されており、また事例調査からも、集中力の高まりや学習の時間に対する自己規律の確立などが報告されているケースもみられる。このことから、指導員等が見守りながら子どもの自発的な学習活動を促すことにより、『学びの姿勢』を子どもに身につけさせることができるという点において、学習支援活動の有効性が示されたといえる。

このような効果をさらに高めるためには、学校施設の活用の際にも、パーティションで室内を区切るなどにより、活動場所の中で子どもが集中して机に向かえる空間を確保することも重要である。

### (5) 様々な子どもが楽しみながら取り組める学習プログラムの提供

様々な学年の子どもが机を並べて一緒に学習活動を行う放課後子ども教室では、それぞれの習熟度に見合った教材を提供したり、学習への意欲や関心を高める工夫をすることにより、参加する子どもが楽しみながら取り組めるようにする必要がある。

例えば、事例調査でみられたように、子ども一人ひとりの学習ファイルを作って学習の進み具合を子どもと保護者、指導員が相互に確認しあえるようにしたり、難易度の異なる様々なプリントを用意し、子ども自身が自らの学習レベルに照らして好きなプリントを選ぶことができるようにしたりといった工夫が考えられる。

なお、各地の学習支援活動で使われているプリントや教材については、学習アドバイザーが作成したもののほか、小学校が独自に作成した補助プリントや、民間の学習塾の教材、市販のテキストなど様々な種類が用いられているが、こうした教材での学習は低学年の児童にとっては困難である場合もあるため、本の読み聞かせやゲーム形式での学習などを組み合わせるなどの工夫も必要である。

また、子どもが楽しみながら学習活動に参加できるよう、課題が終わるごとにシールを与えたり、目標を達成した際に景品を与えるなど、子どものやる気を刺激するようなしなげや達成感を得られるような工夫を組み込むことも効果的である。

### (6) 学校や退職教員等との連携による異学年の子どもの自学自習への的確な対応

アンケート調査結果から、放課後子ども教室における「学習支援活動」は、小学生の各学年を対象として幅広く実施されており、さらに学年個別に実施されるよりは、複数学年が合同で活動するケースの方が多くなることが明らかとなった。また、活動内容としては「学校の宿題の支援」や「自主的な予習や復習の支援」が大半を占めており、講義形式での指導はそれほど多くないという実態も把握された。

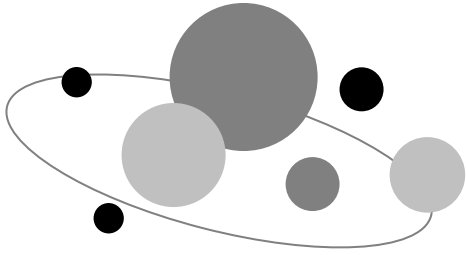
しかし、このような子どもたちの自発的な自学自習の見守りであっても、その活動を見守り、適宜質問等に対応する学習アドバイザーには、各学年ごとの習熟度や学校での教科指導の進捗状況等に応じた的確な指導が求められる。

このため、各市区町村では、退職校長会への働きかけ等を通じて、教職経験者(退職教員)を中心に学習アドバイザーの確保が図られている例が多くみられたほか、地域住民等が学習アドバイザーとして活動している場合には、活動場所である小学校の教職員が放課後子ども教室での活動に参加して学習アドバイザーをサポートしていたり、学校側が各学年ごとの補助プリントを作成したりといった連携が図られている例もみられた。

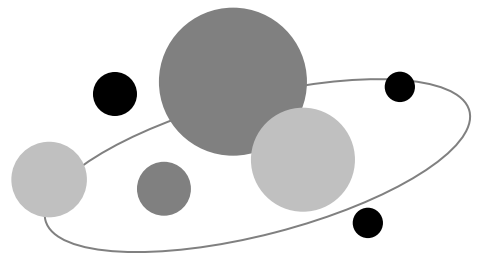
また、事例調査では、各学年の習熟度や学習の進捗状況等を把握するため、退職教員である学習アドバイザー自身が学校と連携を取り、各学年の学年通信等の資料提供を受けているケースもみられた。

このように、様々な学年の子どもの自学自習の学習活動に適切に対応するためには、必要な情報や協力が得られるよう、日頃から学校との連携を密にするとともに、退職教員など、学校と地域との橋渡しともなる人材の協力を得ることも重要である。





## 參考資料







## 放課後子ども教室における学習支援に関するアンケート調査

～ ご協力のお願い ～

平成20年11月 実施  
文部科学省

### 本調査について

平成19年度から「放課後子どもプラン」が新たに開始された中で、同プランにおける「放課後子ども教室推進事業」では、教職を目指す大学生や退職教員等を「学習アドバイザー」として配置し、放課後に学習支援を含めた多様な活動ニーズに応える取組・体制の充実が図られているところです。

本調査は、平成19年12月に実施した「放課後子どもプランに関するアンケート調査」の結果から、平成19年度に学習アドバイザーを配置している市区町村に対して追跡調査を行い、多様な学習ニーズに応えるための取組上のポイントや配慮点等を検討し、今後の放課後子ども教室における多様な学習支援活動の推進に寄与することを目的とするものです。

ご多忙のところ、恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、何卒ご協力くださいますよう、お願い致します。

### ご回答に当たってのお願い

- ◆ 今回の調査は、平成19年度に実施した「放課後子どもプランに関するアンケート調査」にご協力いただいた市区町村のうち、『学習アドバイザーを配置している』とご回答いただいた市区町村を対象にお送りしています。
- ◆ 各設問の指示にしたがってご回答ください。
- ◆ 色のついたセルが回答欄です。それぞれの色は以下のとおりです。
  - クリーム色のセルには「英数字」又は「記号(○)」を入力してください
  - 水色のセルには「文字・文章」を入力してください
- ◆ ご回答いただいたアンケート票(本エクセルファイル)は、ファイル名を貴市区町村名として保存した上で、**平成20年12月5日(金)までに**、下記返信先まで電子メールにてご返信ください。

返信先メールアドレス

houkago@srdi.or.jp

- ◆ このアンケートに関するご質問やご不明な点等がありましたら、下記の調査実施機関までお問い合わせください。

○ 財団法人 日本システム開発研究所 第3研究ユニット (担当:福室(ふくむろ))  
TEL:03-5379-5914 FAX:03-5379-5924

### ご回答者について

ご回答いただいた方のご所属、お名前、ご連絡先をご記入ください。なおご連絡先は本アンケートに関するお問合せ以外には使用しません。

都道府県		市区町村名	
運営委員会名			
本件に関しお問合せをさせていただく場合のご担当者名:			
電話		FAX	

1. 貴市区町村における学習アドバイザーの配置についておうかがいします。

※貴市区町村における平成20年度の「放課後子ども教室」の取組についておうかがいします。

問1 (a) 貴市区町村では、平成20年度において、合計で何箇所「放課後子ども教室」を開設していますか。

(b) これまでに開催した「放課後子ども教室」には、1回あたりどのくらいの子どもが参加しますか。1回あたりの子どもの参加者数について、最も多い場合と最も少ない場合、及び全ての放課後子ども教室を平均した1回あたりの参加者数をご記入ください。

※平成20年9月までの実績でご回答ください。

a	放課後子ども教室の開設箇所数(合計)		箇所		
b	1回あたりの子どもの参加者数:	最大	人、最小	人、平均	人/回

問2 (a) 貴市区町村で開設されている「放課後子ども教室」のうち、学習支援活動を実施している教室は何箇所ありますか。

(b) これまでに実施した学習支援活動には、1回あたりどのくらいの子どもが参加しますか。1回あたりの学習支援活動への参加者数について、貴市区町村内で最も多い場合と最も少ない場合、及び全ての放課後子ども教室を平均した1回あたりの参加者数をご記入ください。

※平成20年9月までの実績でご回答ください。

a	学習支援活動を実施している放課後子ども教室数(合計)		箇所		
b	1回あたりの子どもの参加者数:	最大	人、最小	人、平均	人/回

SQ 問2aで「0箇所」、すなわち平成20年度には学習支援活動を行っていないと回答した方におたずねします。  
今年度、学習支援活動を実施していないのはなぜですか。以下に具体的な理由をご回答ください。

問3 (a) 貴市区町村では、今年度(平成20年度)、「放課後子ども教室」を実施するにあたり、市区町村全体で何名の学習アドバイザーを登録していますか。

(b) また、1回の学習支援活動に関わる学習アドバイザーの人数について、貴市区町村内で最も多い場合と最も少ない場合、及び平均の参加数をご記入ください。

※平成20年9月までの実績でご回答ください。

a	学習アドバイザー総登録者数		人		
b	1回あたりの学習アドバイザー数:	最大	人、最小	人、平均	人/回

問4 貴市区町村では、学習アドバイザーをどのような処遇・勤務形態で採用・配置していますか。問3の学習アドバイザー総登録者数の内訳としてご記入ください。

1	常勤		人
2	非常勤・臨時		人
3	その他( )		人

問5 貴市区町村で活動されている学習アドバイザーには、どのような方が参加していますか。  
(あてはまる番号を全て入力)

1 行政職員	回答欄
2 地域の高齢者(65歳以上)	
3 PTA関係者	
4 子どもの保護者	
5 青少年・スポーツ団体関係者	
6 ボランティア団体・NPO団体関係者	
7 町会・自治会関係者	
8 女性団体関係者	
9 子育て支援団体関係者	
10 高校生・大学生	
11 有識者・学識経験者	
12 退職教職員(教職経験者)	
13 小・中学校の教職員	
14 民生・児童委員	
15 生涯学習・社会教育関係者	
16 上記以外の地域住民	
17 その他( )	

問6 貴市区町村では、問5のような学習アドバイザーをどのように確保していますか。(あてはまる番号を全て入力)

1 公募	回答欄
2 運営委員会の委員からの推薦・紹介	
3 運営委員会の委員が兼務	
4 運営委員会所属団体からの派遣・選出	
5 推進委員会からの推薦・派遣	
6 実施施設の職員が学習アドバイザーを兼務	
7 実施場所となっている学校からの推薦	
8 コーディネーターや安全管理員等からの推薦・紹介	
9 コーディネーターや安全管理員等が学習アドバイザーを兼任	
10 子どもの保護者からの推薦	
11 放課後子ども教室の運営を委託している団体が確保・採用	
12 各種研修・講習会の受講生や修了生からの受入	
13 教育委員会において職員(非常勤・臨時を含む)として採用	
14 その他( )	

問7 貴市区町村では、学習アドバイザーの採用・確保にあたり、必ず満たす必要がある条件(必須条件)、あるいは、有していることが望ましいとされている条件(希望条件)として、どのような応募資格・条件を設定していますか。(必須条件、希望条件それぞれにあてはまる番号をそれぞれの欄に全て入力)

	必須条件	希望条件
1 教職経験者であること		
2 教員免許の保有者であること		
3 教職志望者(教育課程の学生など)であること		
4 その他の免許・資格保有(図書館司書、博物館学芸員など)であること		
5 子どもの指導経験がある者		
6 学習支援の教科・内容が指導できる者		
7 指定した日時で勤務できる者		
8 指定した地域・小学校区で勤務できる者		
9 学習支援にかかわる研修を受講した者		
10 市区町村の人材バンク登録者		
11 その他( )		
12 応募資格・条件は設定していない		

問8 貴市区町村で、学習アドバイザーを確保するために行われている募集の際の工夫や配慮等について、具体的な取組内容やその成果等を以下にご記入ください。

記入例	小学校教諭を退職された方で、地域で個人の学習塾を開設されている方にお話し、知り合いの退職教員等に声をかけてもらった。 公民館で開催される各種講座の受講者に対して、講座の場を活用して事業の説明を行い、参加者を募った。
事例①	
事例②	

問9 貴市区町村では、採用・確保した学習アドバイザーに関わる情報として、どのような情報を管理していますか。(あてはまる番号を全て入力)

1 年齢	<input type="checkbox"/>
2 性別	<input type="checkbox"/>
3 教えられる教科	<input type="checkbox"/>
4 活動可能な勤務地	<input type="checkbox"/>
5 活動可能な勤務日・曜日	<input type="checkbox"/>
6 これまでの活動実績	<input type="checkbox"/>
7 所有する資格・免許	<input type="checkbox"/>
8 実施した学習プログラム(必要スタッフ数、所要時間、材料等)の内容	<input type="checkbox"/>
9 子ども教室での活動への思い	<input type="checkbox"/>
10 子どもに対する意識(地域の子どもに対する思いなど)	<input type="checkbox"/>
11 その他( )	<input type="checkbox"/>

問10 貴市区町村では、学習アドバイザーの活動に対して、どのような支援を行っていますか。(あてはまる番号を全て入力)

1 学習アドバイザーの活動に係る保険の充実	<input type="checkbox"/>
2 学習アドバイザーの謝金の充実	<input type="checkbox"/>
3 学習アドバイザーへの情報提供(学校のカリキュラム、学習フィールドなど)	<input type="checkbox"/>
4 学習アドバイザーの悩みに対する相談体制・機会の確保	<input type="checkbox"/>
5 学習アドバイザー同士の情報交換・交流機会の確保	<input type="checkbox"/>
6 学習アドバイザーを対象とした研修の実施	<input type="checkbox"/>
7 推進委員会等が開催する研修への派遣	<input type="checkbox"/>
8 他地域での学習支援活動の実施状況等の情報提供・事例紹介	<input type="checkbox"/>
9 学習支援活動に係る教材・資機材等の提供	<input type="checkbox"/>
10 学習内容・指導方法にかかわる学校との連絡・調整	<input type="checkbox"/>
11 学習アドバイザーのスケジュールに合わせた活動日の設定	<input type="checkbox"/>
12 その他( )	<input type="checkbox"/>

問11 貴市区町村において、問10のような支援を行ったことにより、学習アドバイザーの活動が活発になったり、学習支援活動に充実がみられた事例などがあれば、具体的な内容や成果をご記入ください。

事例①	学習アドバイザーへの支援内容
	上記によりみられた変化や効果など

事例②	学習アドバイザーへの支援内容
	上記によりみられた変化や効果など
事例③	学習アドバイザーへの支援内容
	上記によりみられた変化や効果など

2. 当該子ども教室の学習支援活動と関係団体との連携についておうかがいします。

問12 貴市区町村では、放課後子ども教室における学習支援活動の実施に際して、どのような地域の関係団体と連携を図っていますか。連携を図っている団体の種類ごとに、どのような内容で連携を図っているか、あてはまる内容の欄に○をつけてください。

		■連携内容							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
		学習アドバイザーの派遣	専門的な分野の講師の派遣	ボランティアや指導補助などの人的協力	活動フィールドの提供	学習プログラムの提供	資機材・教材の提供	学習アドバイザー向けの研修の実施	団体からの経済的支援
団体の種類	1 ボランティア団体・NPO団体								
	2 文化団体								
	3 青少年・スポーツ団体								
	4 女性団体								
	5 高齢者(65歳以上)団体								
	6 PTA								
	7 町会・自治会								
	8 大学								
	9 社会教育施設(公民館、博物館・図書館等)								
	10 民間教育団体(学習塾など)								
	11 「10 民間教育団体」以外の民間団体								
	12 その他( )								

SQ1 問12の「連携内容」に示したような内容以外で、放課後子ども教室における学習支援活動の実施に際し地域の関係団体と連携を図っていることがあれば、団体の種類を問12の1～12から選んだ上、それぞれの連携内容を以下に具体的にご回答ください。

団体の種類	具体的な連携内容
① <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
② <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
③ <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
④ <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
⑤ <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>

SQ2 連携を行っている具体的な団体名について、主な5団体をご記入ください。

団体の種類	団体名称
① <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
② <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
③ <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
④ <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
⑤ <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>

問13 問12で連携内容①(学習アドバイザーの派遣)・②(専門的な分野の講師の派遣)・③(ボランティアや指導補助などの人的協力)のいずれかで関係団体との連携を図っている方におたずねします。

貴市区町村では、放課後子ども教室における学習支援の際に関係団体から人材の派遣や人的支援を受ける際、どのような連携体制をとっていますか。(あてはまる番号を全て入力)

1 教育委員会が関係団体と連絡・調整の上、連携を図る	回答欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 コーディネーターが関係団体と連絡・調整の上、連携を図る	
3 各教室の指導者が関係団体と連絡・調整の上、連携を図る	
4 その他( <input type="text"/> )	

問14 問12で連携内容①(学習アドバイザーの派遣)・②(専門的な分野の講師の派遣)・③(ボランティアや指導補助などの人的協力)のいずれかで関係団体との連携を図っている方におたずねします。

貴市区町村では、放課後子ども教室における学習支援の際に、どのくらいの頻度で関係団体から人材の派遣や人的支援を受けていますか。(あてはまる番号を全て入力)

1 学習支援を行っている教室全てにおいて、毎回、派遣・支援を受けている	回答欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学習支援を行っている教室のうち数箇所、毎回、派遣・支援を受けている	
3 学習アドバイザーが不足した際などに、その都度依頼し、派遣・支援を受けている	
4 特定のテーマなど、学習支援活動の内容に応じて派遣・支援を受けている	
5 団体から協力の申し出があればいつでも受け入れている	
6 その他( <input type="text"/> )	

問15 問12で連携内容①(学習アドバイザーの派遣)・②(専門的な分野の講師の派遣)・③(ボランティアや指導補助などの人的協力)のいずれかで関係団体との連携を図っている方におたずねします。

貴市区町村が放課後子ども教室における学習支援の際に関係団体から派遣・支援を受けている人材はどのような方ですか。以下に、具体的にご回答ください。

例)当該団体(学習塾)の講師、青少年スポーツ団体で子どもの指導に永年関わってきた方・・・など

問16 問12で連携内容⑤(学習プログラムの提供)で関係団体との連携を図っている方におたずねします。

具体的には、どのような学習プログラムを提供してもらっていますか。(あてはまるもの全てに○印)

- 1 各教室ごとの独自の学習プログラムを作成してもらっている
- 2 当該団体が活動に際し作成している学習プログラムを提供してもらっている
- 3 その他( )

回答欄


問17 問12でいずれかに○をつけた(関係団体と何らかの連携を図っている)方におたずねします。

貴市区町村において、問12のような関係団体との連携により、学習内容の充実が図られている例があれば、具体的な内容や成果をご記入ください。

事例①	連携している関係団体名
	連携している内容と連携により充実が図られた学習支援活動の内容など
事例②	連携している関係団体名
	連携している内容と連携により充実が図られた学習支援活動の内容など

問18 問12で、「10 民間教育団体」に○をつけた方におうかがいします。

貴市区町村において、放課後子ども教室での学習支援に際し、民間教育団体と連携するに至った経緯や、具体的な連携内容、メリットや具体的な成果、連携上の課題等をお教えてください。

連携団体名	
連携に至った経緯	
具体的な連携内容	
民間学習団体との連携のメリットや具体的な成果	
連携上の課題・改善点等	

3. 貴市区町村における子ども教室での学習支援活動についておうかがいします。

※貴市区町村で最も活発な学習支援活動を実施している放課後子ども教室を1教室選定の上、その教室について、以下の問19から問31についてご回答ください。

問19 以下の設問でご回答いただく放課後子ども教室の名称をご記入ください。

放課後子ども教室名

問20 問19の放課後子ども教室に来ている子どもは何年生ですか。またそのうち、何年生を対象に学習支援を行っていますか。それぞれあてはまる学年の欄に○をつけてください。  
また、学習支援は各学年それぞれで分けて行っていますか、それとも複数の学年が一緒に行っていますか。学習支援の対象学年ごとに、「学年単独」か「合同」か、あてはまる欄に○をつけてください。

	放課後子ども教室の対象	うち学習支援の対象	学習支援	
			学年単独	合同
1 小学1年				
2 小学2年				
3 小学3年				
4 小学4年				
5 小学5年				
6 小学6年				
7 中学1年				
8 中学2年				
9 中学3年				

問21 問19の放課後子ども教室は、どのような場所で学習支援を行っていますか。(あてはまる番号を全て入力)

1 学校の余裕教室	回答欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学校の特別教室(理科室、図書室等)	
3 学校の体育館	
4 学校の校庭、運動場	
5 地域の公民館	
6 地域の児童館	
7 地域の図書館	
8 地域の体育館	
9 地域の博物館、資料館等	
10 地域の野外フィールド	
11 文化センター、市民センターなど	
12 その他( <input style="width: 150px;" type="text"/> )	

問22 問19の放課後子ども教室の平成20年度の年間開催日数(予定も含む)と開催頻度をご回答ください。

また、そのうち、学習支援活動を行っている回数をご回答ください。

①年間開催日数 平日: 日 休日(土日祝): 日

②開催頻度 (あてはまる番号をひとつ入力) (左の単位での頻度を入力)

学期中 →  に 回くらい

長期休業中 →  に 回くらい

③②のうち学習支援活動を行っている頻度 (②の単位での頻度を入力)

学期中 → ②のうち学習支援活動は 回くらい実施

長期休業中 → ②のうち学習支援活動は 回くらい実施

問23 問22でご回答いただいた学習支援活動の開催頻度について、学習支援活動はどのような頻度で行っていますか。(あてはまる番号をひとつ入力)

1 放課後子ども教室が開催されている日は毎回実施	回答欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 放課後子ども教室が開催されている日のうち、特定の曜日に実施	
3 概ね月に数回程度、放課後子ども教室が開催されている日から選んで実施	
4 不定期・その他( <input style="width: 150px;" type="text"/> )	



問24 問19の放課後子ども教室では、1日あたりの学習支援活動の時間はどれくらいですか。

- ①平日の1日平均学習支援時間  時間 / 1日の総活動時間  時間
- ②土日祝の1日平均学習支援時間  時間 / 1日の総活動時間  時間
- ③長期休業中の1日平均学習支援時間  時間 / 1日の総活動時間  時間

問25 問19の放課後子ども教室では、学習支援を行う教科を設定していますか。(あてはまる番号をひとつ入力)

- 1 学習支援を行う教科を決めている
- 2 学習アドバイザーの能力・専門等に応じて教科を決めている
- 3 学習支援を行う教科は決めていない
- 4 その他(  )

回答欄

問26 問25で、「1学習支援を行う教科を決めている」とお答えの方におうかがいします。  
問19の放課後子ども教室では、どのような教科に対して学習アドバイザーを確保して、各学年の学習支援を行っていますか。(あてはまるもの全てに○印)

	学習アドバイザーがいる教科	学習支援対象学年								
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
1 国語	全てに○									
2 算数・数学										
3 社会										
4 理科										
5 図画工作										
6 生活										
7 音楽										
8 美術										
9 技術・家庭										
10 体育・保健体育										
11 英語										
12 英語以外の外国語										

問27 問19の放課後子ども教室では、どのような形態の学習支援を行っていますか。(あてはまる番号を全て入力)

- 1 自学自習の支援
- 2 講義・授業の実施
- 3 その他(  )

回答欄

問28 問27で「1自学自習の支援」とお答えになった方におうかがいします。  
問19の放課後子ども教室では、どのような自学自習の支援を行っていますか。(あてはまる番号を全て入力)

- 1 自主的な予習や復習の支援
- 2 学校の宿題の支援
- 3 各種教科のプリント学習の実施
- 4 子どもの調べ学習の補助
- 5 自由研究の指導
- 6 その他(  )

回答欄

問29 問27で「2講義・授業の実施」とお答えになった方におうかがいします。  
問19の放課後子ども教室では、どのような講義・授業を行っていますか。(あてはまる番号を全て入力)

- 1 学校の予習・復習に関する講義
- 2 教科毎の基礎的な学習の講義
- 3 学力向上を目指した独自カリキュラムの実施
- 4 学習アドバイザーの専門分野の指導
- 5 その他(  )

回答欄

問30 問27で「2講義・授業の実施」とお答えになった方におうかがいします。  
問19の放課後子ども教室では、学習支援の際にどのような教材を使っていますか。(あてはまる番号を全て入力)

- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 学校で使っている教科書や副読本などの教材              |
| 2 | 学校の授業で配られたプリントや宿題など               |
| 3 | 学校の教職員が放課後子ども教室のために独自に作成したプリントや教材 |
| 4 | 学習アドバイザーが独自に作成・準備したプリントや教材        |
| 5 | 連携している関係団体が活動に際し作成している教材          |
| 6 | 子どもが持参した教材や資料など                   |
| 7 | その他( )                            |

回答欄


問31 問19の放課後子ども教室での学習支援活動の具体的な流れについてご記入ください。

記入例	平日の放課後に小学校の余裕教室に子どもたちが集まり、好きな席で自主学習を始める。退職教員等の学習アドバイザーが1名、地域のボランティアが補助として2~3人おり、教室を巡回しながら子どもたちの質問に応じて指導を行っている。また、学習用のプリントも用意しており、プリント学習をしたい子どもは、参加時にプリントを受け取り、実施後、学習アドバイザーが添削をして、子どもに返却する。

**4. 放課後子ども教室の学習支援活動と学校との連携についておうかがいします。**

※以下の問32から問35についても、問19でご指定いただいた放課後子ども教室における学習支援活動についてご回答ください。

問32 問19の放課後子ども教室での学習支援活動に対して、学校からはどのような支援・連携を得ていますか。(あてはまる番号を全て入力)

- |    |                                |
|----|--------------------------------|
| 1  | 放課後子ども教室の学習支援活動への教職員の参加(補助指導)  |
| 2  | 放課後子ども教室の学習アドバイザーへの助言・サポート     |
| 3  | 学校のカリキュラムと放課後子ども教室の学習内容との調整・連携 |
| 4  | 学習用の教室・フィールドの提供                |
| 5  | 学校で作成した学習プリント等の教材の提供           |
| 6  | 学習支援活動への子どもたちの参加を促進するための広報活動   |
| 7  | 学校行事との連携(学習成果の発表など)            |
| 8  | 退職教員等の紹介による学習アドバイザーの確保         |
| 9  | 学習支援活動を行う際の安全対策における連携          |
| 10 | その他( )                         |
| 11 | 特に支援・連携は得ていない                  |

回答欄


問33 問19の放課後子ども教室の学習支援活動に際して、学習アドバイザーは教職員とどのような連携を図っていますか。(あてはまる番号を全て入力)

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 事前に学習支援の方法等について教職員と協議を実施している        |
| 2 | 子どもの様子や学習支援の状況について教職員と情報を共有している     |
| 3 | 子どもの出欠状況等について教職員と情報を共有している          |
| 4 | 子どもへの対応・指導方法について相談したり情報を共有している      |
| 5 | 保護者とのコミュニケーションや対応について相談したり情報を共有している |
| 6 | その他( )                              |
| 7 | 特に連携・協力は図っていない                      |

回答欄


問34 問19の放課後子ども教室において学習支援活動を行う上で、学校との連携に関してどのような問題・課題がありますか。(あてはまる番号を全て入力)

- 1 教職員と学習アドバイザーの指導方針が合わない
- 2 学校での学習の進捗と学習アドバイザーの指導内容が合わない
- 3 学校(教職員)が忙しく、なかなか協力が得られない
- 4 学校を活動場所として利用できない
- 5 学習支援活動に使用する学校の資機材等が利用できない
- 6 その他( )
- 7 特に問題・課題はない

回答欄


問35 問19の放課後子ども教室で行っている学習支援活動に際し、学校との連携や、教職員との協力・連携が図られている取組について、その具体的な内容や成果をご記入ください。

**5. 貴市区町村で学習支援活動に取り組んだ成果についておうかがいします。**

問36 貴市区町村では、放課後子ども教室において学習支援を実施したことにより、**参加している子どもたち**に何か変化(成果・効果)がみられましたか。(あてはまる番号を全て入力)

- 1 子どもの学力が向上した
- 2 子どもの学習意欲が向上した
- 3 学校を欠席したり遅刻・早退する子どもの数が減った
- 4 宿題の提出状況が改善した
- 5 学習に際しての集中力が向上した
- 6 放課後子ども教室のない日でも家庭学習の習慣が身に付いた
- 7 調べ学習や自由研究等に対する取組姿勢が変わった(積極性が増した)
- 8 子どもの生活習慣全般が改善した
- 9 その他( )
- 10 特に目立った変化や効果・成果はみられない

回答欄


SQ1 問36で「1 子どもの学力が向上した」と回答した方におたずねします。  
貴市区町村で、放課後子ども教室での学習支援活動により学力が向上した事例について、特に特徴的な放課後子ども教室を3～5事例程度選び、学習支援活動の内容、及び活動前後の学力についての比較など、具体的な学力向上の内容をご記入ください。

①	教室名	
	対象学年	
	活動期間	
	参加数	(1回当たりの平均参加子ども数) 平均 <input type="text"/> 人程度 ※平成20年9月までの実績
	指導体制	(1回当たりの学習アドバイザー数) 平均 <input type="text"/> 人程度 ※平成20年9月までの実績
		(1回当たりの参加ボランティア数) 平均 <input type="text"/> 人程度 ※平成20年9月までの実績
	指導内容	①の教室における学習支援活動の具体的な内容についてご回答ください。
	学力に関する状況	上記によってみられた子どもの学力に関する具体的な変化についてご回答ください。具体的な数値など紹介いただける客観的なデータがあれば添付してください。

②

教室名			
対象学年			
活動期間			
参加数	(1回当たりの平均参加子ども数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
指導体制	(1回当たりの学習アドバイザー数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
	(1回当たりの参加ボランティア数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
指導内容	①の教室における学習支援活動の具体的な内容についてご回答ください。		
学力に関する状況	上記によってみられた子どもの学力に関する具体的な変化についてご回答ください。具体的な数字など紹介いただける客観的なデータがあれば添付してください。		

③

教室名			
対象学年			
活動期間			
参加数	(1回当たりの平均参加子ども数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
指導体制	(1回当たりの学習アドバイザー数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
	(1回当たりの参加ボランティア数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
指導内容	①の教室における学習支援活動の具体的な内容についてご回答ください。		
学力に関する状況	上記によってみられた子どもの学力に関する具体的な変化についてご回答ください。具体的な数字など紹介いただける客観的なデータがあれば添付してください。		

④

教室名			
対象学年			
活動期間			
参加数	(1回当たりの平均参加子ども数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
指導体制	(1回当たりの学習アドバイザー数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
	(1回当たりの参加ボランティア数) 平均		人程度 ※平成20年9月までの実績
指導内容	①の教室における学習支援活動の具体的な内容についてご回答ください。		
学力に関する状況	上記によってみられた子どもの学力に関する具体的な変化についてご回答ください。具体的な数字など紹介いただける客観的なデータがあれば添付してください。		

⑤	教室名			
	対象学年			
	活動期間			
	参加数	(1回当たりの平均参加子ども数) 平均	<input type="text"/>	人程度 ※平成20年9月までの実績
	指導体制	(1回当たりの学習アドバイザー数) 平均	<input type="text"/>	人程度 ※平成20年9月までの実績
		(1回当たりの参加ボランティア数) 平均	<input type="text"/>	人程度 ※平成20年9月までの実績
	指導内容	①の教室における学習支援活動の具体的な内容についてご回答ください。		
	学力に関する状況	上記によってみられた子どもの学力に関する具体的な変化についてご回答ください。具体的な数字など紹介いただける客観的なデータがあれば添付してください。		

SQ2 問36で2～9のいずれかを回答した方におたずねします。  
 学習支援活動を実施したことにより、参加している子どもたちに具体的な変化(成果・効果)がみられた事例があれば、以下にご紹介ください。

①教室名	
具体的な変化	
②教室名	
具体的な変化	
③教室名	
具体的な変化	

問38 貴市区町村では、放課後子ども教室において学習支援を実施したことにより、**地域**に何か変化(成果・効果)がみられましたか。(あてはまる番号を全て入力)

- |  |   |
|--|---|
| 1 学校・教職員と地域との交流・理解がこれまで以上に深まった<br>2 学習支援活動に関わる地域の人材・団体間の連携や活動が活発化した<br>3 地域全体で、子どもの教育・学力向上への関心が高まった<br>4 地域の学習支援活動に関わる人材やフィールド等の情報が入手しやすくなった<br>5 その他( )<br>6 特に目立った変化や効果・成果はみられない | 回答欄<br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |
|--|---|

問39 学習支援活動を実施したことにより、地域に具体的な変化(成果・効果)がみられた事例があれば、以下にご紹介ください。

①教室名	
具体的な変化	
②教室名	
具体的な変化	
③教室名	
具体的な変化	

問40 貴市区町村では、放課後子ども教室における学習支援活動に参加した学習アドバイザーについて、活動前後で何か変化がみられましたか。(あてはまる番号を全て入力)

1 本事業に対する理解が深まり、学習支援以外の活動にも協力が得やすくなった 2 教室の外でも色々な子どもに声をかけたり、交流を持つなど、地域の子どもに対する意識が変わった 3 保護者や地域の人と挨拶を交わしたり、よく話したりするようになった 4 学校の教職員と積極的に子どもについての情報交換をするようになった 5 他の教室の学習アドバイザーと情報交換するなど、学習支援活動の向上に積極的に取り組んでくれるようになった 6 その他( ) 7 特に目立った変化や効果・成果はみられない、分からない	回答欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
---	---

**6. 貴市区町村における学習支援活動に係る課題や今後の方向性についておうかがいします。**

問41 貴市区町村では、学習アドバイザーの確保に対してどのような課題がみられますか。(あてはまる番号を全て入力)

1 学習支援を行える資質・能力を持った人材を確保できない 2 子どもの参加人数に対して学習アドバイザーの数が不足している 3 学習アドバイザーの専門分野・資質により指導内容に偏りがみられる 4 学習アドバイザーが確保できないため活動曜日に偏りがみられる 5 年間を通して安定的に学習アドバイザーを確保するのが困難である 6 予算が不足しており、学習アドバイザーが確保できない 7 他の役割(コーディネーター、安全管理員など)を兼任して多忙である 8 その他( ) 9 特になし	回答欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
--	---

問42 貴市区町村では、学習アドバイザーにどのような知識や資質・能力を求めますか。(あてはまる番号を全て入力)

- 1 子どもの発育や心理に関する知識
- 2 子どもとの適切なコミュニケーションを図る能力
- 3 子どもの状況変化への対応能力
- 4 教職経験や子どもの学習指導経験
- 5 学校の学習カリキュラムに関する知識
- 6 算数や英語などの教科ごとの専門知識・指導技術
- 7 学校の予習・復習や宿題等の自主学習への支援能力
- 8 低学年から高学年までの様々な学年の子どもの学習を支援できる能力
- 9 学習プリントなどの教材の作成能力
- 10 学習支援活動の幅を広げるための地域の人材・団体との連携能力
- 11 子どもの安全管理や活動場所の安全対策に対する知識・実践技術
- 12 その他( )

回答欄


問43 貴市区町村では、学習アドバイザーの資質を向上する上でどのような点が課題となると考えますか。また、その課題を解決する上でどのようなことが必要だと考えますか。既に講じている対策などがあれば併せてご回答ください。

(a)学習アドバイザーの資質を向上する上での課題

(b)上記(a)の課題を解決する上で必要なこと

(c)上記(a)の課題の解決に向けて既に取り組んでいる対策など

問44 貴市区町村では、放課後子ども教室で学習支援活動を実施していく上でどのような点が課題となると考えますか。また、その課題を解決する上でどのようなことが必要だと考えますか。既に講じている対策などがあれば併せてご回答ください。

(a)放課後子ども教室で学習支援活動を実施していく上での課題

(b)上記(a)の課題を解決する上で必要なこと

(c)上記(a)の課題の解決に向けて既に取り組んでいる対策など

問45 貴市区町村では放課後子ども教室で学習支援活動を今後どのような計画で実施していく予定・意向をお持ちですか。

問46 貴市区町村で、放課後子ども教室で学習支援活動を実施した感想や、今後の学習支援活動に際して望むことがあれば、ご自由にお書きください。

\*\* 以上で調査は終了です。ありがとうございました。 \*\*





平成20年度文部科学省委託調査 総合的な放課後対策推進のための調査研究

## 放課後子ども教室における学習支援の取組に関する実態調査報告書

平成21年3月

財団法人 日本システム開発研究所

〒162-0067 東京都新宿区富久町16番5号 TEL: 03-5379-5914〔ダイヤル〕 FAX: 03-5379-5924